



### 加藤 真一郎

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了(作曲専攻)。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学ピアノデュオ科マイスター課程修了。文化庁在外研修員としてA・コンタルスキー教授のもとで研鑽を積む。瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオとして多数の受賞。なかでも最難関とされるマレイドラノフ国際2台ピアノコンクールで日本人デュオ初の第1位。国内外での演奏会、NHK「ベストオブクラシック」「名曲探偵アマデウス」「クラシック倶楽部」等への放送出演、都響、東京フィル、京響との協奏曲の共演、多数の邦人作品の初演を行う。FONTECレーベルよりCD「2 pianos」(レコード芸術特選盤)、監修を行った楽譜「やさしい2台ピアノ曲集」(音楽之友社)が発売中。作曲家としては2003年芥川作曲賞にノミネートなど。現在、国立音楽大学(ピアノ・音楽理論)、桐朋学園大学(音楽理論・理論科ピアノ・ピアノデュオ)、東京芸術大学(音楽理論)非常勤講師。

http://www.seokato.com/

### 安田 亜美

愛知県一宮市出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業。東京音楽大学ピアノ演奏家コース、同大学院伴奏科修了。伴奏助手として選ばれ、同大学、同付属幼稚園で三年間勤務。その後渡仏、パリ地方音楽院伴奏科にて、二年間アリアヌス・ジャコブ氏とフィリップ・ピロス氏のクラスで移調や初見、オーケストラ曲をピアノで弾くリダクションを学び、音楽全体、本質を追求する二年間となる。審査員満場一致の一等賞で卒業。またパリエコールノルマル音楽院にて、アンリ・バルダ氏のクラスでも研鑽を積む。パリ8区市立小学校にて小学生の合唱の伴奏員として勤務する他、サントギュスタン教会にて合唱コンサートの伴奏や多数コンサートの伴奏を務める。帰国後、浅間山重奏(2014年結成)ピアニストとして軽井沢を中心にコンサートを行う他、パリで出会った仲間と定期的に演奏活動をしている。日本では清水皇樹、岡田敦子、土田英介の各氏に師事。現在は鎌倉在住。ソロ活動のほか、アーティストとの共演活動、後進の指導にあたっている。

### 片山 柊

北海道札幌市出身。小樽市で育ち7歳よりピアノを始める。2015年札幌大谷高等学校音楽科卒業後、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース・エクセレンス)4年在学中。第64回全日本学生音楽コンクールピアノ部門中学生の部全国大会第1位、第7回横浜国際音楽コンクールピアノ部門高校生部門全国大会第1位 Virtuoso賞、第41回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、および聴衆賞。渡邊一正指揮 東京フィルハーモニー交響楽団と共演。日本各地のほか欧州でのリサイタル、ジョイントコンサートに出演・開催し、ソロに限らず室内楽や現代音楽の分野などで横断的に活動中。これまでピアノを日向加代子、斉藤香苗、音楽理論を浅野宏之の各氏に師事。現在、ピアノを武田真理、東誠三、広瀬宣行の各氏、作曲を土田英介氏に師事。

### 秦 はるひ

東京藝術大学付属音楽高等学校を経て、同大学、同大学院を修了。在学中より邦人作品初演を盛んに行い、バッハから現代作品まで幅広いレパートリーを持っている。ドビュッシー国際コンクール第1位受賞以後、ソロを中心に、幅広く活動、内外のアーティストとも共演多く、深い信頼を得ている。2006年から2014年まで、アンリ・バルダ氏、アンヌ・ケフェレック氏と毎春、パリにてピアノ研修を主宰。教育活動も大学院卒業と同時に東京芸術大学講師となり、2013年まで36年間、同大学と付属高等学校で後進の指導にあたった。門下からは国内外のコンクール入賞者を多数輩出している。近年では海外での活動も増え、パリ、トリノ、ソウルなどでリサイタルのほか、ヨーロッパ内の夏期講習会、スクラヤーピン(モスクワ)、イル・ド・フランス(フランス)など、国際コンクールの審査にも招かれている。批評活動、演奏会プロデュースも手がける。

## FAX 申込書 (03-3944-8838)

### 会場地図



JR線・都営三田線「東横」駅:南口徒歩1分  
(宮田ビル3F)

### 世界へ発信! 日本のピアノ曲シリーズ Vol.5 (10/25)

席数

席

フリガナ

氏名

E-mail

@

※できるだけメールアドレスをお書きください

FAX. ※任意

TEL. ※任意

住所〒 (

—

) ※任意

### 予約方法

- FAX 申込: 上記の FAX 申込用紙に必要事項を記入の上、当協会までお送りください。
- TEL 申込: 03-3944-1583 (公開録音コンサート担当)
- ウェブ申込: www.piano.or.jp/concert/public より、公演名をお選び頂き、必要事項をご記入下さい。



主催: 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 後援: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会